

高橋まさかず市長活動報告

VOL.6

■発行日：2021年1月
■発行元：高橋まさかず後援会

明けましておめでとうございます。

昨年は、これまで経験したことのない新型感染症の流行により、新たな生活様式のもとで心労も多い我慢の年であったと思います。

私自身、市長としてこの難局をいかに切り抜けていくか、市議会の皆様とも相談しながら、「健康と医療」「日々の暮らし」「地域経済」を守ることを3本柱に、「感染防止」と「社会経済活動」を両立させる取り組みを進めてまいりました。これもひとえに、皆様の変わらぬご理解、ご支援あってのことと、深く感謝申し上げます。

こうした新たな課題対応と並行して、皆様方にお約束した5つの誓いも、その実現に向けて、着実に取り組んでまいりました。その詳細な内容は、2面をご高覧いただきたいと思います。

早いもので、皆様のお力で就任させていただいた市長の任期も、残り1年余りとなりました。東京五輪の開催や新東名高速道路（秦野市区間）の開通を令和3年

度に控え、秦野市は大きく飛躍発展するチャンスを迎えてます。この機を逃さず、本年4月からスタートする新総合計画により「丹沢」「名水」「桜」「温泉」など「ふるさと秦野」の魅力ある資源にさらに磨きをかけ、「水とみどりに育まれ誰もが輝く暮らしそうい都市（まち）」の実現を目指します。

いよいよ、本年12月には、念願の秦野方式による「中学校給食」が始まります。未知の感染症拡大という未曾有の危機を乗り越え、市民一人ひとりが夢と希望を持ち、生き生きと暮らせるよう、これまで以上に、市民の皆様の声に耳を傾け、一つ一つ丁寧に対応し、全力で市政運営に取り組んでまいります。

一日も早く新型感染症が収束し、新しい年が皆様方にとりまして健康で明るく幸せな年となりますことを心からお祈り申し上げ、年頭のあいさつといたします。

秦野市長 高橋 昌和



後援会・支援団体の組織充実を

明けましておめでとうございます。皆様には常日頃、温かなご支援を頂き感謝申し上げます。昨年はコロナウイルス禍により、高橋まさかず後援会も満足に活動することは出来ませんでしたが、念願の女性部会を10月10日に保健福祉センターに各地区代表が集まり、会長・副会長・幹事を選出し組織名を「なごみ会」（昌和（まさかず）の和に由来）として発足し活動をスタートすることが出来ました。

「なごみ会」は高橋まさかず市長の支援団体の中核となって活動していただけるものと思います。今後は後援会組織と協力しながら「なごみ会」の地区組織の充実に取り組んでいただけるものと思います。

コロナウイルス禍の中でも高橋市長は市民の心と体の健康を常に考え、公約にそって様々な政策を推進してきました。人口減少社会にあって、大切な子や孫に繋がるまちづくりの基本となる新総合計画の策定、本年12月より開始される中学校給食の完全実施、表丹沢魅力づくり構想等、内に向けての施策だけでなく、外に向けての発信もありました。

高橋市長の任期も残り1年となりました。今年は任期4年間を集約する年でもあり、さらなる前進に向けて後援会・支援団体の組織拡充を図り、活動の輪を広げ、多くの市民の方に加わって頂けることを願っています。よろしくご支援ご協力の程、お願ひいたします。

高橋まさかず後援会 会長 三杉 克篤

3年間の歩み ~5つの誓いを中心に~



1 地域医療の充実・強化

市民が安心できる地域医療体制を構築するため、妊娠、出産、子育て、成人期の各ステージに応じた切れ目のない支援に取組んできました。引き続き、秦野日赤の分娩業務再開をはじめとした地域医療の充実・強化に向けて、これまで築いてきた医療関係者との顔の見える信頼関係を足掛かりに、医師確保に取り組んでいきます。

- ◆「日帰り型産後ケア事業（市直営）」の開始＜令和元年度＞
- ◆産婦健康診査と新生児聴覚検査の費用助成制度を創設＜令和2年度＞
- ◆小児医療費の通院助成を中学3年拡大＜令和元年度＞
- ◆「地域巡回型健康バス事業（東海大学との協働）」の運営＜平成30年度＞
- ◆県との連携による未病センターを3箇所開設＜令和元年度＞
- ◆75歳以上の希望者全員の人間ドック受診の補助＜令和元年度＞
- ◆派遣型救急ワークステーションの運用開始＜令和2年度＞

2 中学校給食の完全実施

最大の課題であった給食センターの建設は、民間活力を最大限に生かした「公民連携による秦野方式」としたことでの全国にも例を見ないほど短期間に、かつ財政負担を抑えた質の高い中学校給食の実現が可能となりました。（詳細は3面参照）

3 教育水準の改善・向上

まずは教職員が児童生徒に向き合う時間を確保するための「多忙化対策」を優先して取り組むとともに、教職員の「意識改革・人材育成」に力を注ぎました。また、児童・生徒の新たな学びに結び付く情報化を推進しています。

- ◆教育委員会に新部署を設け、学校への支援体制を充実＜令和元年度＞
- ◆スクールサポートスタッフを全中学校区に配置＜令和元年度＞
- ◆民間企業と連携した寺子屋方式の放課後学習支援＜令和元年度＞
- ◆公民連携による授業力向上プロジェクトの立上げや教育支援アドバイザーの招へいにより、先進事例を積極的に取り入れ＜令和2年度＞
- ◆国のGIGAスクール構想に基づき、1人1台の端末を配置＜令和2年度＞

4 小田急4駅周辺にぎわい創造

にぎわい創造に向けては、国登録有形文化財制度による近代建築物の活用など、4駅それぞれが持つ特長を生かすことが重要であり、楽しい「まち歩き」ができる仕掛けづくりを進めてきました。また、弘法山や震生湖など、駅と駅の間に点在している自然や歴史、文化などの地域資源を線でつなぐことで、新たな人の流れを作り、地域経済の好循環につながる取組みを進めています。

- ◆小田急電鉄との連携により4駅起点終点のツアーオンライン＜令和元年度＞
- ◆お店のリフォーム支援による魅力アップ補助金を創設＜令和元年度＞
- ◆秦野駅（県と連携した県道705号の整備促進、近代建築物の国登録有形文化財を目指し調査開始、水道130周年曾屋水道記念公園を改修）
- ◆渋沢駅（「はだの歴史博物館（旧桜土手古墳展示館）」や渋沢丘陵等を生かしたまち歩きルートの検討）
- ◆東海大学前駅（北口エレベーター・エスカレーター設置や歩道拡幅（市道9号線）の準備、県による駅前交番を南口広場内へ来年度移転促進）
- ◆鶴巻温泉駅（大山とのバス季節運行に合わせ、ジビエ料理で観光客をもてなすキャンペーンを行うなど、名湯を生かしたにぎわいづくり）＜令和2年度＞
- ◆4駅を起点周辺とするYAMASUTAスタンプラリーの開始＜令和2年度＞

5 新東名・246バイパスの最大活用

令和3年度に迫った新東名高速道路（秦野市区間）の開通を契機に、表丹沢一帯にある様々な資源を結び付け、本物の魅力づくりにつながるよう、産業・地域振興の両面からの取組みを進めています。また、国道246号バイパスの全線事業化に向けて、引き続き、県・近隣自治体と連携し、精力的に国への要望活動に取り組みます。

【産業振興】

- ◆地域特性を生かした企業誘致などを可能とする戸川土地区画整理事業の実現に向けた同準備組合への技術支援
- ◆秦野S.A周辺の道路整備

- ◆中井町と連携した秦野中井I.C南土地区画整理事業準備組合への支援

【地域振興】

- ◆「はだの丹沢クライミングパーク（ボルダリング施設）」の整備。県施設（リード、スピード）と合わせて国内有数の施設が誕生＜令和2年度＞
- ◆「表丹沢魅力づくり構想の策定」＜令和2年度＞
- ◆森林セラピー基地の認証を受けたセラピーロードの活用
- ◆登山や自転車愛好家の活動拠点となるヤビツ峠レストハウスの整備

中学校給食の完全実施について

本年12月「安全・安心でおいしい生徒が喜ぶ中学校給食」の実施に向け、「(仮称)学校給食センター」の建設と各中学校へ「給食コンテナ配送料用エレベーター」の設置を進めています。



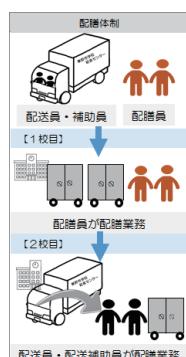
秦野市立中学校給食基本方針

- 保護者・学校及び行政が連携して、完全給食を早期に実現します。
- 安全・安心でおいしい、生徒が喜ぶ学校給食を提供します。
- 成長期にふさわしい、栄養バランスを考えた学校給食を提供します。
- 学校給食を通じた食育を推進します。
- 地産地消の視点を生かした学校給食を推進します。

事業の概要

①衛生管理・調理・配送

- ドライシステムの採用
- HACCP(ハサップ)/危害要因分析重要管理点の概念に基づく衛生管理の実施
- 安定的な給食提供のための実施体制の確保
- 豊富な調理・運営経験を生かした手作り給食への対応
- 地場産品を使用した秦野らしい給食の提案
- 効率的な配送のための配送員の配置



②食物アレルギー対応

- 「学校給食における食物アレルギー対応指針(文科省)」に沿った安全性の確保
- 担当者の専属配置による調理体制の確保
- 実績に基づく業務実施とチェック体制の確保
- 器具類の色分けによるアレルゲンの混入防止
- 個別容器の採用と識別表示の徹底による誤配缶・誤配送の防止
- 食物アレルギー対応食調理室の設置



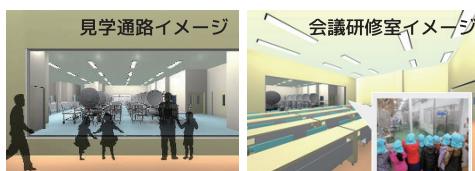
③地域振興・地域貢献

- 地元からの雇用促進と働きやすい環境整備
- 地元に根差した事業運営と地元企業への積極的な業務発注
- 職場体験や実習生の受入等への協力
- 災害時応援協定の締結と災害用備品(移動式煮炊釜、停電時も使用可能な受水槽)の設置



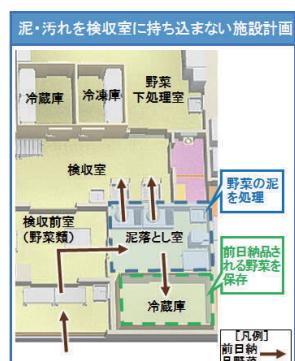
④ 食育の推進

- 食に興味が持てる食育空間の整備
- 調理工程を観察できる見学通路の整備
- 会議研修室からは直接またはモニターによる調理工程全体の見学が可能
- 食育活動への積極的な対応
- 施設見学時等の対応支援



⑤ 地産地消の推進

- 地場野菜を受け入れやすい泥落とし室などの整備
- 葉物野菜の異物除去や果物の洗浄を効率よく行うための4層シンクの設置
- 食材の風味を保つ微酸性電解水生成装置の設置
- 生産者の負担軽減に配慮した大型冷蔵庫や前日納品野菜専用冷蔵庫の設置
- 地場産食材や地産地消の大切さを学ぶ場としての環境整備



水とみどりに育まれ 誰もが輝く暮らしそうい都市を目指して!!

まち
秦野を変える
新しい風

1 「表丹沢魅力づくり構想」を策定

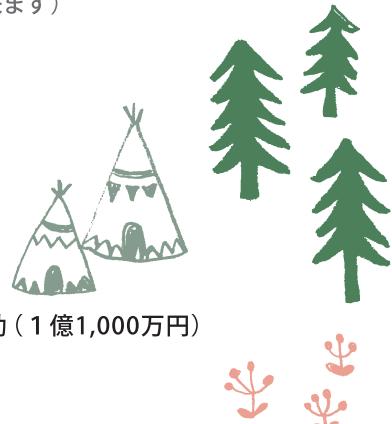
現在、建設が進む新東名高速道路の周辺に広がる里地里山から北側に位置する丹沢山地一帯を中心とした本市域を「表丹沢エリア」として、その魅力を最大限に生かすため「表丹沢魅力づくり構想」を策定しました。

より多くの方が、表丹沢の「本物の魅力」を体感されることで、改めて「ふるさと秦野」の魅力を発見し、地域への愛着を深めていただけるよう構想の実現に取り組んでまいります。

魅力づくり方針

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 方針 1 資源を支える仕組みの充実 | 方針 4 新しいライフスタイルの提案 |
| 方針 2 資源の適切な保全と新たな展開 | 方針 5 交流・発信による魅力の高め合い |
| 方針 3 地域が主体となった体験の提供 | |

※「表丹沢魅力づくり構想」の冊子には、表丹沢を3つに分けたエリアごとの特性に応じた方向性についても記載していますので、ぜひご覧ください。(ホームページ:「表丹沢魅力づくり構想」で検索出来ます)



2 3本柱でコロナ対策を実施

1. 健康と医療を守る

- ・小児及び高齢者へ新型インフルエンザ予防接種費用の支援(2億602万円)
- ・発熱外来を設置している秦野赤十字病院の医療体制支援(5,000万円)
- ・PCR集合検査場の運営支援(260万円)

2. 日々の暮らしを守る

- ・水道料金関連: 基本料金の全額及び従量料金の10%を減額する企業会計への補助(1億1,000万円)
- ・文化芸術イベント(一団体当たり上限5万円)の支援(300万円)
- ・市役所における内定取消しや雇止めにより職を失った方の緊急雇用(1,000万円)

3. 地域経済を守る

- | | |
|-------------|--|
| 商業関連 | ・県の緊急事態措置により休業又は夜間営業時間短縮に協力した中小企業や個人事業主へ10万円の支援(1億3,300万円)
・外出自粛の中で宅配やテイクアウトサービスを行う飲食事業者へ一事業者当たり上限15万円の支給(3,000万円)
・飲食等で一人4,000円以上につき1,000円のキャッシュバック(6,000万円)
(9月1日～10月9日にかけて事業実施し経済効果としては、2億7,000万円に上った)
・プレミアム率40%の商品券の発行(2億6,000万円) |
| 工業関連 | ・雇用調整助成金の申請手続きに社会保健労務士を活用する中小事業者へ一事業者当たり上限10万円の支給(600万円) |
| 交通関連 | ・バス、タクシーの各公共交通事業者の運営支援(1,875万4千円) |



3 窓口サービスの充実

- ・駅・公民館連絡所で証明書が毎日(年末年始・休館日を除く)取得できます。(令和3年1月4日～)
- ・土日開庁日が月2回(第2土曜日・第4日曜日)になります。(令和3年1月4日～)
- ・おくやみコーナーを設置し、ワンストップでご遺族の手続きを支援します。(令和3年1月4日～)
- ・マイナンバーカードを利用したコンビニでの証明書交付サービス(全国どこでも対応可)を開始します。(令和3年1月29日～)



市民公式
LINEアカウントが
誕生しました!

数々の便利機能を備え、市民生活をサポートする案内人。きっと役に立つので「秦野市」をあなたの"友だち"にしてください。

友だち登録お願いします

二次元コードから



ホーム画面で
検索

秦野市



高橋まさかず市長活動報告

[6月25日] 市内「学生団体E4」と懇談



[7月2日] 国道246号バイパス建設促進協議会
早期実現に向けてリモートで要望活動



[7月3日] 秦野市と伊勢原市を結ぶ新東名
高取山トンネル上下線が貫通しました



[7月31日] 大雨により被害があった
大根川現場を視察



[8月11日] 秦野市及び伊勢原市における
消防通信指令事務の共同運用に関する合意書を締結



[6月29日] 横河電子機器㈱・東亜建設技術㈱・
コネクシオ㈱と協定締結



[7月3日] スタンレー電気㈱ライトトンネル棟
新築工事竣工式



[7月28日] 牧島かれん衆議院議員が来庁され秦野市の
実情を報告、意見交換させていただきました



[8月3日] 水稻を食害し問題になっている
ジャンボタニシのいる水田を視察



[8月29日] 防災機能の強化など多目的機能を有した
秦野市立西公民館竣工式



[9月18日] 高齢者敬老祝訪問
100歳を迎えた方のお祝いに伺いました



[10月9日] 法政市長会で菅内閣総理大臣を表敬訪問(首相官邸)



[10月28日] 秦野市・中井町・二宮町・大磯町広域公共交通連絡会で地域公共交通運行継続を支援



[11月3日] コロナ禍で市民を元気づけようと
顔晴ろう秦野メモリアル打ち上げ花火を開催



[9月23日] リニューアルした西中学校と接続した
防災備蓄倉庫を視察



[10月12日] 秦野市派遣型
救急日赤ワークステーション運用開始



[11月1日] はだの歴史博物館オープン
はだのふるさと大使の苅谷俊介氏と



[11月3日] 市民の日
秦野市功労者等表彰式を開催



「はだのふるさと大使」

秦野市にゆかりがあり、さまざまな分野で活躍されている方を通じてふるさとに関する情報を発信し、イメージアップを図ることを目的に設置されています。
吉田栄作氏、苅谷俊介氏について次の3名を「はだのふるさと大使」に任命いたしました。



秦野市出身の世界的指揮者 山田 和樹 氏



水戸黄門の五代目格さん役、
映画「二宮金次郎」では、主演の
秦野市出身の俳優 合田 雅吏 氏



秦野市出身で初めて落語界の
最高位である「真打」に昇進した
落語家 春風亭 一左 氏

【高橋まさかず後援会事務所】

〒257-0012 秦野市西大竹134番地

Tel/Fax. 0463-68-3939

令和3年1月 活動報告第6号



高橋まさかず

takahashi-m.jp



ヤヒツ峠から大山へ